

1学年だより

葛飾区立新宿中学校

第1学年 第39号
平成29年3月22日

合唱コンクール作文！1組・2組・4組

「合唱コンクール」

1組 林 那奈



合唱コンクールは、1年間ともに過ごしてきたクラスと最後の協力し合える時です。私たち1組は、この合唱コンクールで、よりクラスの間が深まったと思います。

私たちは、合唱コンクールに向けて毎日、朝練と放課後の練習に一生懸命取り組んでいました。私は指揮者でしたが、はじめはピアノともあまり合わず苦労しましたが、だんだん上手く出来るようになってきました。

みんなと合わせる時は、まだ一人一人自信なくてばらばらになっていましたが、パート練習やホールで何回か歌っていくうちに、みんなもひとつになっていきました。

しかし、ある日ふざけていたので注意されてしまい、練習がなくなってしまいました。そこで1組のみんなは話し合ったり、誰かが中心となって指示だしたりして練習を続けようと努力していました。この出来事があったから、みんなはさらにまとまり、一人一人がやる気を出していきました。ただ歌っているだけではなく、感想を言ったり、みんなと注意し合ったりして練習するようになりました。私も指揮をしていて、1組の「あなたへ」が前よりずっといい歌になっていると感じました。

合唱コンクールがあり、1組のクラスの間は深まったと思います。あと少ししかこのクラスとは過ごしていきませんが、合唱コンクールのようにみんなが楽しかったで終われるように、あと少しの時間を過ごしていきたいと思いました。

「合唱コンクールで学んだこと」

2組 蓬田 洸太



3月11日に、合唱コンクールがありました。おしくも金賞はとれませんでした。が、ぼくは良かったと思います。それに、この合唱コンクールで、たくさんを学びました。

まず学んだことは、努力する大切さです。最初のころは、お世辞にも歌がうまいとは言えないような歌声でした。ですが、この合唱コンクールの練習を通して、少しずつではありますが、だんだんと声が出るようになってきました。これは本番でも活かされたと思います。

次に学んだのは、仲間と団結することの大切さです。最初の練習では、みんなだらけていたり、ふざけていたりして、ばらばらだと思っていた。しかし、本番に近づくにつれて、みんなだんだんと一つにまとまっていきました。本番になると、みんなが本気になって歌い、負けたときはみんなと悔しがっていました。

この合唱コンクールを通して、他にも色々なことを学びました。ここで学んだことを、これからの学校生活にも活かし、よりよい学校生活を送っていかれたらいいなと思いました。

裏面に4組です！



「合唱コンクール」

4組 石原 哲平

ぼくは、この合唱コンクールを終えて、次のようなことを思いました。

まず、仲間となにかをやりとげる楽しさです。新宿中は、いろいろな行事があるけれど、合唱コンクールという行事は、あまり好きではないかと思っていました。それは、歌うことがあまり好きではないからです。

4組の課題曲は、「いのちの歌」に決まりました。暗い感じの歌でした。音楽などで練習がはじまったとき、女子も男子もまったく声が出ていませんでした。そして、弓削先生とのクラスでの練習が始まった時は、女子はなかなか出るようになっていたけど、男子はあいかわらず出ていませんでした。でも弓削先生のアドバイスなどがあって男子もできるようになってきました。

その中特に声が出ていなかったのはぼくでした。自分では出しているつもりなのに、聴こえないと言われたときには、納得がいきませんでした。ですが、男子をよく見てくれた宮崎先生や弓削先生のおかげで少しずつ声のでてきたときは嬉しかったです。

そして本番当日、4組として最後の行事なので精一杯頑張ろうと思いました。そして一番伝えなければいけない人は、4組を一年間ずっと見ていてくれた弓削先生なので、弓削先生のためにも頑張ろうと思いました。

そして、4組の結果は銀賞でした。あんなに声が出ていなかった4組が銀賞になったことは、先生、指揮者、伴奏者、クラス全員が団結したからだと思います。

2年生での合唱コンクールでは、金賞をとりたいです。



球技大会の様子を載せます！

